



第 34 号
編集発行所 〒990-2492 山形市鉄砲町一丁目15-64
山形県立山形西高等学校 嚶鳴同窓会 電話 023-641-3504



凛として存在する 母校の姿に感無量の思い

会長 佐藤 伶子

日本が終戦を迎えて63年、とりあえず世の中は落ち着きました。民主主義が浸透し、教育の機会均等、差別撤廃ということで、いつの間にか男女別学の高校は姿を消しつつあります。

また、来る10月23日(木)の創立110周年記念式典では、在学中に全国制覇を為し遂げた同窓会名物「嚶鳴女声合唱団」が西高音楽部現役の皆さんと初めて同じ舞台上立って、世代を越えたハーモニーを開かせてくれます。

そのような中であって、私たちの山形西高等学校が、公立高ながら女子高としてこの110年間生き残って来られたのは珍しいことです。(厳密に言えば、昭和20年代に学制改革によって山形南高西校舎として男子も受け入れた時代がありました)

昭和19年校舎焼失のあとの復興運動、翌20年関東地方へ学徒動員中に被爆して死者が出たことなど、若い人には想

われております。毎年11月に山形市で開催される同窓会総会には出席者が約500人、6月の東京支部総会には300人、その他隔年開催の寒河江支部など会員同士の交流は各地で盛んに行なわれております。



世紀を越えて受け継ぐ 「嚶鳴」のブランド力

校長 黒田 聖司

嚶鳴同窓会の皆様におかれましては、益々ご壮健にて、各界において、多彩な活躍をなされていますことに、心からお慶び申し上げます。また、日ごろより本校の教育活動にあたたかいご支援とご協力をいただき御礼を申し上げます。

私は、東海林前校長の後任として、本年度より校長を拝命しております。本校赴任以前は、新庄北高校長、県教育次長、県教育センター所長を務めてきました。

企業が永続するためには、不変のブランド力と変革を続ける姿勢が必要であります。企業が安定して成長するためには短期、中期、長期の将来像を同時に展望することが不可欠であります。

本校は、明治31(1898)年に設置され、今年度、創立110周年を迎えた、歴史と伝統に輝く、県内屈指の進学校であります。

本校が永続して発展するため、「嚶鳴」のブランド力である歴史と教育理念、学校文化、校風という教育的機能を継承

し、改善を図ることが肝要です。今後とも、知・徳・体に調和のとれた豊かな人間性を育て、将来、国家及び社会の有為な形成者として、一人一人がその能力と特性をいかに発揮できる人材を育成するため、学びの主体である生徒にとって何が大切かを根本に据え、生徒の自己実現と社会的役割の自覚を図るため、教職員一同スクラムを組んで、地域に開かれ、信頼され、活力ある学校づくりを進めてまいります。



平成20年度 総会のお知らせ

今年、記念すべき創立110周年です。大勢の方のご参加をお待ちしています。

- とき 11月16日(日) 午前10時30分開会
- ところ パレスグランデール (山形市荒瀬町一丁目17-40)
- 会費 5,000円
- チケット購入のお問合せ TEL 090-5355-1766 (同窓会総会当番学年/担当 野村)



思い出で繋いで〜平成19年度 嚶鳴同窓会総会〜



平成19年11月11日（日）、オーヌマホテルに於いて嚶鳴同窓会総会が開かれまし
た。お天気にも恵ま
れ、出席者数550
名をも超える盛会と
なりました。

総会は佐藤伶子会
長、東海林明校長先
生のご挨拶で始まり、
松浦英子副会長の議
長で厳粛かつ活発に
進行しました。

引き続いて祝賀式
典では、来賓を代表
して45年卒の恩師で
は紅花染。内掛全体に施され
た刺繍の見事に、会
場には感嘆の声が上
がりました。

また、喜寿を代表し
て荒井様は、戦時下で
の高校生活の思い出を
語って下さいました。
先輩方のご苦勞を思い、
私達は言葉もありませ
んでした。

また、今年のアトラ
クションは、45年卒の
遠藤伶俊さんによる生
田流箏曲の演奏で、宮
城道夫作曲の「瀬音」
「春の海」を聞かせてい
ただきました。清らかに澄ん
だ音色が心に染み入るひと
きでした。

木村洋子先生のご発声で祝
宴が始まり、懐かしい先生の
お顔に同窓生一同から歓声が
沸きました。総会の為に用意
しました荒木務先生に「デザイ
ンいただいた美酒「嚶鳴」で
乾杯、会食となり、久しぶりの
再会に会場は和やかな雰囲気
が流れました。

総会の最後を飾って嚶鳴女
声合唱団による新旧校歌の斉
唱と、今年は昭和20年卒の同
窓生の皆さんの思い出の曲、
メンデルスゾーンの「おお、
ひばり」も加えて歌っていた
できました。

これは、学生生活の殆どを
川崎の軍需工場で勤勞奉仕を
していた西高生が、昼休みに
屋上で毎日歌っていた思い出
の歌で、聞きながら当時に思
いをはせられた方々も多く、
改めて嚶鳴の歩んだ道の険し
さを感じました。

さらに今年、母校は創立1
10周年を迎えます。何より
皆様のご理解とご協力のもと
に無事開催できましたことに
心より御礼申し上げます。
(昭和44年卒 清野和子)

甦る「嚶鳴」の輪 総会で

嚶鳴同窓会東京支部
<http://www.oumei.jp>



6月15日（日）、ホ
テルオークラ平安の
間において平成20年
度総会が開催されま
した。

岩手・宮城内陸地
震の翌日でしたが、
山形からは、この4月着任さ
れた黒田聖司校長先生、昭和
50年から16年間西高に在職さ
れた恩師結城（旧姓立川）時子
先生、本部役員の方々をはじめ
、前校長の東海林明先生を
お迎えすることができました。

今年の総会も、昭和11
年卒から平成20年卒まで
276名の参加者で盛大
な会となりました。今回
は結城時子先生に教えて
いただいた同窓生が多数
参加しましたが、受験当
時の先生のお話にて、改め
て師の恩に感謝するひと
ときを過ごしました。

第2部懇親会は、喜寿
を迎えられた方にお祝い
の品を差し上げた後、顧
問神尾ひさ様（昭11年卒）
（昭和56年卒 大石 洋子）

生誕 100年記念
「桜井浜江展」
が開催されました
3/29～5/11・山形美術館

桜井浜江さんは明治41年、山形市
宮町に生まれ、大正13年に山形第
一高女（22回）を卒業されました。
独立美術協会、女流画家協会で発
表され、戦後の洋画壇に特異かつ重
要な足跡を残された大先輩でした。
心の底から盛り上がるもの、地の
底から湧き上がる力を作品にしたい
と、激しい筆触の表現主義的な
画風を築きあげました。
母校には「葉 No.2」100号が寄贈
されています。どうぞご覧下さい。



日野先生をお訪ねしたのは、6月初めのこと。奥様と一緒に、にこやかな笑顔で迎えてくださいました。

先生と西高とのご縁は深く、「母と、父母の姉妹も皆、女子師範。姉5人は第一高女の卒業で、嚶鳴の雰囲気の中で育った」とか。その縁に導かれるように昭和34年、東京大学大学院修士課程を修了後、西高に赴任されました。

当時は戦後復興がなかなか進まず、校舎も設備も貧弱で、「これが山形県で一番優秀な女生徒が学ぶ学校か、と憤りを感じた」と先生。しかし生徒の表情は明るく、課外補習の『ナイター』もあり、学校挙げて生徒を育てる熱意に溢れていたといえます。

国語教師として着任された先生も、社会科学会・日本史も担当することに。週に20時間もの授業時数をかかえ、「家にガリ版を持ち帰って、夕方までガリ切りをした。進学指導や部活もあり、日曜も祝日も休む暇がなかった」と振り返ります。

さらに、生徒会総務顧問の思い出話も。生徒から文化祭開催の要望があったものの、

職員会議では賛成が得られず、「学校側と生徒会との間に入って悩みました。それで、まず文化部発表会という形で進めることにしたのです」。

そのご苦労が実り、昭和44年から文化祭が開かれたと伺って、『嚶鳴祭』の生みの親

「恩師を訪ねて

「嚶鳴育ち」のご縁

日野 顕正 先生



と言え先生に感謝いたしました。

また、山岳部とスキー部の顧問をされ、両部ともインターハイと国体に出場しましたが、「生徒が優秀だったから」と先生。山岳部がインターハイで北アルプス薬師岳に

行った際、誤解がもとで入賞を逃したことに話が及ぶと、「あれは悔しかった」と昨日のことのように話されました。

こうして11年間、西高に勤務された先生は、創立100周年記念の『百年史』の執筆にも当たられ、『群書類従』正統編1-17冊や『岩波講座日本歴史』26冊などの貴重な資料、お母様の女子師範卒業時の銀時計を寄贈されるなど、今もご縁は変わりません。

退職後は、「県への恩返し」と山形県生涯学習文化財団理事長など多くの要職を引き受けられ、一昨年には瑞宝小綬章を受章。「生涯現役」でお忙しい毎日ですが、その合間を縫って「国宝薬師寺展」に行かれたり、大好きなクラシックコンサートへ。

また、小説『坊っちゃん』の狸校長と山形との関わりを新聞に連載されるなど、充実した日々を送っておられます。

先生との楽しいお話は尽きませんが、西高の生徒が活躍するたび、嬉しく思っていますよ」と「嚶鳴」を愛してやまない言葉に送られ、お宅を後にいたしました。

(訪問者 富樫・たなか)

西高の新しい顔「正門」が完成

山形西高110周年記念事業の中でも特に大きな事業である正門が完成しました。

デザインは、平成17年に作られたフェンスと同様、世界的デザイナーとして活躍されている奥山清行氏（山形カロッツェリア研究会代表）です。「山形鎔物」の重厚な高質感が西高の伝統を感じさせる高の新しい顔です。（事務局）





いつまでも輝いて...
卒業生からのお便り

『ごみ減量・もったいないねット山形』にかかわって...



昭和28年卒 菅野 節子

関係・事業所等の参加をいただき... 活発なご発言をいただき、関心の深さが感じられました。

この間、買い物袋持参運動部会は、会員が率先して買い物袋を持参、不用なレジ袋や過剰包装を断る等をはじめ、店頭キャンペーンや街頭キャンペーン、男性用創作マイバッグ等のコンテスト、そして表彰式を行いました。

「温暖化は人為的」「明日では間に合わない」「SAVE the future」は今、環境問題のキーワードとなっています。

『もったいないねット』加盟店推奨部会では、この取り組みを幅広く発信し、多くの人に周知していただくために、ポスターやミニのぼり旗の製作配布等をしてきました。

ごみ問題は、これまで行政の仕事のように考えていましたが、排出する私たちがもっと積極的に関わらなければと、考え、踏み出しました。

ごみ減量学習部会では、ごみ処理施設見学会や、リサイクル企業見学会を行いました。

ジの立ち上げや更新、情報誌の発行、『ごみ減量の標語募集』を行ったところ、市内16校より1,219点もの応募がありました。厳正な審査の下、コンテストの表彰式が行なわれました。

どのイベントも会員の皆様よりスタッフとして企画や実施にご協力いただいていることが、この会の強みだと感謝しているところです。

そして今年3月、紙類・布類を資源として、より一層有効に活用するための「協定締結」に参加しました。

さらに、5月7日には、レジ袋削減に向けた協定に参加しました。何度も話し合いを重ね、スーパー7社(全31店舗)・行政(山形市)・市民団体が一緒になり踏み出したことに大きな感動を覚えました。

心のふるさとを求めて

昭和47年卒 金谷 千恵子



子供達に知識偏重ではない大らかな教育環境を与えてやりたい、という思いが昂じて、当時13歳と4歳だった娘達とスーツケース3個を携えて英国の地を踏んだのが42歳のときでした。今考えると案外無謀だったとも思えますが、潮どきにはさからえないと言います。

以来、さまざまなことに首をつっこんでおりました。13年が経ってしまいました。そんな中でも稼業のやきものを何とか続けてこられたのは、基本的に私が創造の魅力にとりつかれているからなのでしょう。

そして近年は、さらに大きな意味での創造ということに目が向いています。自分自身の創造、ひいては創造という宇宙の力に自分自身を委ねて



思いは通じる



昭和41年卒 奥平 玲子

私は卒業してから3年目に寒江市市の長念寺に嫁ぎ、

40年になりました。

長念寺は「最上札所第十六番」の寺になっており、特に今年には御開帳の年にあたりますので、日本全国の方々が参拝にいらしています。

巡礼には友人や家族と楽しみながらの方、何か思うことがあって今を変える方、家族が亡くなり供養のための方、

山形の漬物を全国へ



昭和57年卒 新聞 さとみ

私嫁いだのは古き良き山形が残る西部の田園地帯、大曾根でした。義母は、地元

の「漬物名人」で、近所の方から分けてもらった大量の季節の野菜を、瞬時にしておいしい漬物にしてくれました。義母の手際の良さ、味付けのセンス、そして新鮮な野菜の味に心から感動しました。

主人の「うまい。やっぱり、かあちゃんを作るこの漬物最

自分の限界を試してみる方等いろいろです。

最初は軽い気持ちで巡つても、観音様と何度もお会いするうちに、その信仰はかけがえのないものになるのではないのでしょうか。

嫁いでは子供を育てながら檀家や信者・巡礼の方々のご接待、ご近所とおつきあいなど一人でこなすには若い私にはとても大変でしたが、自分をより高めるための修業と思えば楽しくもありました。でも、まとまった本を読ん

だり、ものを書いたりする暇もなく、あわただしく過ごしていたのを覚えています。

長男が1歳の時、山形新聞に地元的女性詩人の評伝が連載になり、楽しみながら愛読しました。読んでいくうちにこのような素晴らしい詩人が身近にいたということ、なぜ今まで知らずにいたのだろうという思いに駆られ、とても興味がわきました。

47年に評伝が本になり早速購入し、友人知人に貸し出しをして彼女の存在を知ってもらいました。彼女は第一高女に入学し谷地高女を卒業、一時的にも私たちの同窓生だったのでなおさらでした。

その評伝、日塔貞子の生涯『雪に燃える花』のことは思っ

ては忘れ、忘れては思い、ずうつといつも心の片隅に存在していたように思います。

還暦を迎えようとした一昨年、郷土の閨秀詩人がこのまま忘れさられてはいけないと胸にあたたかためていた再版を考

今年には貞子生涯88年、同窓会総会には一緒に学んだ方々が御招待されるというのでとても楽しみにしています。また11月には文翔館で「日塔貞子展」を開催します。

いつまでも輝いていくため「思いは通じる」を胸に秘めて、これからも生きて行きたいと考えています。

『私の墓は』も50年ぶりに再版できました。

高だなく。キャベツときゅうりの浅漬けが出ると、もうすぐ春祭りだな」という言葉に、漬物に四季を感じる事が、昔から有る山形の文化なのだと、この地に嫁いで知ったのでした。

子供が生まれ、今度は私がこの味を受け継いでいかなければと思ひ、義母から少しづつ漬付け方を教えてもらう様になりました。義母の「やんばい」はとてわかりづらく、塩加減のレシピを取るのにと

ても苦労しました。とはいえ、実際に漬けてみると、調味料や道具もあまり必要なく、考えていた以上に簡単でした。

単純な話、塩・砂糖・酢さえあれば、どんな野菜でも漬物にする事が出来るのです。「なるほど！これはおもしろい」と漬物の魅力にはまっています。少しずつ慣れてくると失敗もします。その時にもう義母のアドバイスがすごく的確で、私がいちいち感動していると、「こんなこと、至極当たり前の事だ」と一笑に付されてしまいました。しかし、この一言がもたらす「私には、漬物は漬けれられない」と挫折する人が多いので

はないかと感じました。その後、漬物を販売する様になって、年配の方からも漬付け方を聞かれるようになり、「山形は漬物産地なのに、意外に漬付け方を知らない人がいる。核家族化の進む現代では次世代に受け継ぐことが難しく、またあたりまえすぎて、教えにくる人がいないんだ」ということに気づきました。山形

形の家庭の漬物の漬付け方を教える事もこれからは必要とされるのではないかと思ひ、義母に相談してみました。「私の知っていることをすべて教えろ。もともと初心者だったおまえがポイントだと思つたことを、うまくまとめてみる。

全面的に支援するから」と言われ、二人三脚で始めた仕事が一さとみの漬物講座一でした。今後は漬物だけではなく、郷土料理にも範囲を広げ活動していきたいと思ひ、日々勉強です。

「さとみの漬物講座」HP <http://tsukemono.info/>

道木並

佐々木 智子

6月はまさに結婚式の多い「ジュニアブライド」です。披露宴に出席して感じることはありません。一つは結婚式の形態が様変わりしたこと。日本に昔から伝わる神前式よりも、教会式が人気になりました。和装よりもウェディングドレスを歩くというスタイルに多くの女性が憧れるので、もちろん宗教的にその式を選ぶ人も多いと思いますが、対して国際結婚をする人たちが、紋付、白無垢姿で神社で式を挙げるのも最近増えてきました。外国の方がさらに日本古来の文化に憧れる様です。ホテルのガーデンや高原など、本人たちの好きな場所です。この様に自由な発想で思い思いのブライダルスタイルがあるのですが、私たちも含めて、若い人にもっと日本の伝統文化の良さを受け継いでいってほしいものです。

次に結婚年齢が高くなっていることです。30数年前の男女の平均結婚年齢は、男性27歳、女性23歳でした。女性の幸せは結婚にありと考えられており、本人も親も結婚に向けて積極的でした。平均3人くらい子供を産んだ時代です。現代は女性が高学歴になり社会に進出し、責任ある仕事につくほど結婚年齢が高くなる傾向にある様です。女性が結婚して、家庭と仕事が両立できる様に、社会全体で安心して子育てできる環境作りをすることが必要ではないでしょうか。



わがクニ会

『団塊世代も還暦の歳に』

昭和41年卒 後藤 桂子

昭和41年度卒業生の還暦祝いの会を、平成19年11月4日(日)にパレスグランデールで開催いたしました。

と位置付ける人など様々ですが、これからの無事息災を神殿で祈願していただいたご利用益は等しくあることでしょう。戦後最大のベビーブーム時代に生まれた私たちは、団塊の世代の先頭を切るものとして今後も話題をさらうことが多くあることと思われまふ。これからも元気一杯走っていきましよう。頻発する地震や地球温暖化等の不安のほかに、予想も出来ない事件が頻発している昨今ですが、嚶鳴同窓生、絆は強烈。故郷には多くの仲間が待っています。声をかければ瞬時に連絡がつけられる、そんな関係を改めて確認できた還暦同窓会でもありました。

関東地域や東北各県、県内各地からの出席者は約60名。佐々木智子実行委員長の元氣な挨拶の後、「おみやげフラワーアレンジメント」「まずまず若く美しく・60歳のストレッチ体操」「大事な年金の話」など、現在活躍している仲間がそれぞれ情報を持ち寄り公開、学習したり一緒に身体を動かしたりの盛り沢山な内容でした。

心はまだ18歳の青春真っ盛りとはいえず、垣間見る小皺やしみは紛うことなき熟年の勲章でしょうか。しかし、ひとたび口を開けば瞬く間に41年前の同級生に戻り、セーラー服のときの愛称が飛び交います。同級生とは本当にいいものです。しみじみ思いました。

還暦の節目を迎えても、充実した人生のひとつの通過点に過ぎないと思う人、まだまだ長い人生のスタートライン



以上の方が該当学年となります。

嚶鳴同窓会評議員

相澤 栄 顧問 昭和14 高女36	中村 郁 評議員 昭和34 西高5
大宮 文子 顧問 昭和16 高女38	武田笑美子 評議員 昭和35 西高6
中原えい子 顧問 昭和20 高女42	長岡 玲子 評議員 昭和36 西高7
黒田 聖司 校長	古瀬 孝子 評議員 昭和37 西高8
佐藤 伶子 会長 昭和30 西高1	小松 節子 評議員 昭和38 西高9
松浦 英子 副会長 昭和31 西高2	武田美津子 評議員 昭和39 西高10
菅野 ふみ 副会長 昭和40 西高11	佐々木智子 評議員 昭和41 西高12
田中 克子 庶務 昭和32 西高3	結城 廣子 評議員 昭和42 西高13
佐藤 鳴子 庶務 昭和34 西高5	鈴木よし子 評議員 昭和43 西高14
玉田 アサ 評議員 昭和21 高女43	清野 和子 評議員 昭和44 西高15
粕川 タカ 評議員 昭和24 高女46	佐藤 淳子 評議員 昭和45 西高16
鈴木 貞 評議員 昭和25 四高2	青木 智子 評議員 昭和46 西高17
皆川 貞子 評議員 昭和26 南高1	たなかゆうこ 評議員 昭和51 西高22
菅野 節子 評議員 昭和28 南高3	富樫由美子 評議員 昭和57 西高28
平田 洋子 評議員 昭和29 南高4	金谷 睦子 監事 昭和25 四高2
片桐ユキ子 評議員 昭和32 西高3	安藤 朋子 監事 昭和27 南高2
山田 勝子 評議員 昭和33 西高4	

平成21年度 米寿・喜寿のお祝いについて

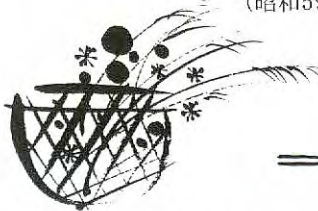
米寿 昭和14年高女
昭和16年女子師範一部・二部

喜寿 昭和23年四高併設中学校
昭和26年山形南高等学校

おめでとうございます

平成20年度の春の叙勲で、昭和31年卒の村形(岸)修子さんが、長年、調停委員として社会・公共に尽くしたと認められ瑞宝双光章を受章されました。

- ・労働省婦人少年局山形婦人少年室に23年間勤務(昭和35年~58年)
- ・裁判所調停委員 今年で24年目(昭和59年より)



お祈り
申し上げます

- 星(松田)カツ子(昭14高女)
細谷(長谷川)千恵(昭14高女)
大沼(高橋)美枝子(昭14高女)
大原(中山)きよ子(昭24高女)
工藤(湯口)ふじ子(昭33高女)
三船(山川)聡子(昭33高女)
永森(東海林)啓子(昭41高女)
栗野(板垣)明子(昭18女師一)
雨谷(雨谷)又七子(昭18女師一)
榎金(五十嵐)玲子(昭18女師一)
鈴木(鈴木)初枝(昭14女師一)
横倉(多田)ハナ(昭23高女)
布施(布施)静子(昭23高女)
河合(奥山)敬子(昭23高女)
鈴木(鈴木)キヨ(昭14女師一)
田中(吉田)ゆき(昭14女師一)
斎藤(伊藤)志げ(昭16女師一)
庄司(山川)やす子(昭28南高)
田中(岡田)禎子(昭25南高)
周藤(佐藤)多恵子(昭34西高)
岡崎(後藤)弘子(昭34西高)
桑久保(小関)純子(昭10女師一)
大江(竹永)美恵子(昭18女師一)
佐藤(村岡)重子(昭17高女)
斎藤(結城)美代(昭17高女)
中嶋(佐藤)もん(昭16高女・昭17女師二)
蛸井(三浦)しげ(昭17女師二)
佐藤(長谷川)伸(昭9高女)
岡本(小野)澄子(昭20高女)
西澤(桜井)貞江(昭16高女)
鍵谷(村井)公子(昭14高女)
斎藤(佐藤)ヨシ(昭29南高)
永井(結城)トモ(昭29南高)
工藤(岡田)禎子(昭24高女)
田中(井上)慎子(昭24高女)
高橋(板垣)芳子(昭24高女)
松岡(田中)茂子(昭24高女)
Keiko SANE(米本)
福地(中島)順子(昭24高女)
古沢(山内)せい(昭36高女)
古沢(藤井)康子(昭41高女)
柏倉(鹿野)芳子(昭20高女)
杉田(清野)みよ(昭22高女)
倉金(渡辺)宓子(昭31高女)



平成19年度 主行事務報告

平成19年	5月7日	同窓会会計監査	本校嚶鳴会館事務室
	5月11日	第1回評議員会	本校嚶鳴会館食堂
	5月12日	寒河江支部総会	グランデール寒河江
	5月17日	嚶鳴三会会長副会長会	
	6月10日	同窓会東京支部総会	ホテルオークラ東京
	6月20日	創立記念日・校内合唱コンクール	県民会館
	8月18日	第2回評議員会・第1回クラス幹事会	本校図書館・本校101教室
	11月11日	平成19年度同窓会総会	オーヌマホテル
	12月15日	同窓会総会反省会	オーヌマホテル
	"	次年度当番学年へ引継ぎ会	"
平成20年	2月29日	同窓会入会式	本校嚶鳴会館和室
	3月1日	第54回卒業証書授与式	本校体育館

平成19年度 維持会費納入状況 (平成20年 6月17日現在・納入者氏名省略)

◎平成19年度分で平成19年 4月1日～20年 6月17日に納入されたもの ※135クラス分 405,000円

高女	昭和22年(4年卒)・23年・24年	西高	昭和36年 1～5組	西高	昭和47年 1～6組
	昭和23年～25年(5年卒)		昭和37年 1～5組		昭和48年 6組
南高	昭和26年 1～4組		昭和38年 1～5組		昭和49年 2組
	昭和27年 1～5組		昭和39年 1～5組		昭和50年 3組
	昭和28年 1～4組		昭和40年 1～6組		昭和51年 4組
	昭和29年 3・5組		昭和41年 1～6組		昭和57年 1・5組
西高	昭和30年 1～4組		昭和42年 1～4・6組		昭和58年 1～6組
	昭和31年 1～4組		昭和43年 1～6組		昭和59年 1・3・4・5・6組
	昭和32年 1～4組		昭和44年 1～6組		昭和60年 1～6組
	昭和34年 1～4組		昭和45年 2・5組		昭和62年 1～7組
	昭和35年 1～5組		昭和46年 1～6組		

◎平成19年度分で平成19年 3月31日までに前納されたもの

南高	昭和29年 2・4組	西高	昭和49年 4・5組	西高	平成4年～19年 全クラス
西高	昭和33年 1～4組		昭和50年 5・6組		
	昭和45年 1・3・4・6組		昭和51年 1組		

○会報担当校内理事

飛鳥 吉田 陽朋 子世 榎 郁子

佐々木 智子 富 樫 由美子

小松 節子 富 樫 由美子

古瀬 孝子 富 樫 由美子

長岡 玲子 青木 智子

玉田 アサ 清野 和子

○会報編集委員(評議員)

玉田 アサ 清野 和子

お忙しい中、会報34号の原稿を多数お寄せいただきありがとうございます。紙面の都合上お載せできない原稿もあり恐縮しております。

どうぞ1年後をお楽しみください。

事務局にご連絡下さい。

母校の先輩・後輩・在校生の活躍やクラス会の楽しかったことなど―来年の紙面作りのためご感想をお寄せ下さい。多くの方に会報をお読みいただけるようお気軽に事務局にご連絡下さい。

この号から紙面一新しました。いかがですか？

編集後記

宛先/〒990-2492

山形市鉄砲町1-15-64 山形西高校内

嚶鳴同窓会報編集室「同窓生からのお便り」係

お願い/卒業年度、住所、電話番号をご記入の上

お送りください。

問合せ/TEL 023(641)3504 FAX 023(641)3516

山形西高校内 同窓会報担当まで

学校ホームページ/http://www.yamagatanishi-h.ed.jp



平成19年度 嚶鳴同窓会基本金決算

1 収入の部

(単位：円)

1. 前年度繰越金	12,741,119
2. 総会ご芳志	565,000
3. 総会残金	6,093
4. バッチ立替分 (19年度分)	75,000
5. 定期預金利息	10,315
6. 普通預金利息	8,533
合 計	13,406,060

(内、定期預金 7,400,000)

2 支出の部

(単位：円)

1. 19年度総会補助	100,315
2. 総会記念写真代・送料	50,400
3. 〃役員茶話会 (新旧三役・来賓)	11,896
4. 20年度総会補助	100,525
合 計	263,136

(1、3は振り込み手数料を含む。)

3 差引残高 13,406,060円 - 263,136円 = 13,142,924円

平成19年度 経常費決算

1 収入の部

(単位：円)

項 目	予算額	決算額	増減 (△)	摘 要
入 会 費	717,000	717,000	0	3,000円×239人
会 費	1,217,000	1,217,000	0	717,000円+500,000円
繰 越 金	354,793	354,793	0	18年度残金
雑 収 入	7	1,231	1,224	預金利子
計	2,288,800	2,290,024	1,224	

2 支出の部

(単位：円)

項 目	予算額	決算額	残 額	摘 要
総 会 費	820,000	820,000	0	総会、各支部会
会 議 費	190,000	169,664	20,336	評議員会、クラス幹事会等
後 援 費	100,000	70,000	30,000	会員後援など
記 念 品 費	75,000	75,000	0	新入会員の記念品費
印刷発行費	350,000	249,480	100,520	会報印刷、封筒印刷
事 務 費	20,000	1,449	18,551	事務用品他
通 信 費	150,000	43,245	106,755	連絡通信用葉書・切手
慶 弔 費	110,000	55,950	54,050	会員慶弔費その他
交 通 費	280,000	258,460	21,540	三役交通費、東京支部総会
諸 費	180,000	146,620	33,380	入会式経費、全国大会出場饅頭、事務室へ用紙代等
予 備 費	13,800	0	13,800	
計	2,288,800	1,889,868	398,932	

3 差引残高

(総収入) 2,290,024円 - (総支出) 1,889,868円 = (残高) 400,156円

平成20年度 経常費予算

1 収入の部

(単位：円)

項 目	本年度予算額	前年度予算額	増減 (△)	摘 要
入 会 費	708,000	717,000	△9,000	3,000円×236人
会 費	1,208,000	1,217,000	△9,000	708,000円+500,000円
繰 越 金	400,156	354,793	45,363	19年度残金
雑 収 入	44	7	37	預金利子
計	2,316,200	2,288,800	27,400	

2 支出の部

(単位：円)

項 目	本年度予算額	前年度予算額	増減 (△)	摘 要
総 会 費	790,000	820,000	△30,000	総会、各支部会
会 議 費	200,000	190,000	10,000	評議員会、クラス幹事会等
後 援 費	100,000	100,000	0	会員後援など
記 念 品 費	75,000	75,000	0	新入会員の記念品費
印刷発行費	350,000	350,000	0	会報印刷、その他印刷
事 務 費	20,000	20,000	0	事務用品
通 信 費	150,000	150,000	0	連絡通信用葉書・切手
慶 弔 費	110,000	110,000	0	会員慶弔費、その他
交 通 費	300,000	280,000	20,000	三役交通費、東京支部総会
諸 費	200,000	180,000	20,000	入会式経費、全国大会出場饅頭、事務室へ用紙代等
予 備 費	21,200	13,800	7,400	
計	2,316,200	2,288,800	27,400	